月形の花 紹介

月形町なんて聞いたことありません！

◆◇◆ 月形町 ◆◇◆

覚えてください！
月形町は北海道中央西部に位置する、人口4,000人あまりの町です。

札幌から北東に約50キロほどに位置し、国道275号線とJR学園都市線で結ばれてます。
気候は内陸性で、夏の最高気温は30度程度、冬の最低気温は氷点下20度程度になり、冬の積雪量は200センチに達します。

月形ってドコですか！？

月形って花を栽培してますか！？

◆◇◆ 月形の花 ◆◇◆

「月形の花」の歴史は昭和46年の「花き園芸研究会」から始まります。
最初は7戸の生産者が0.8haの面積で戸惑いながらも菊の栽培を始めました。その後、花作りの楽しさを覚えてカーネーション、カスミソウを初めとして草花や球根類、枝物等バラエティに富んだ品目を次々導入し、ピーク時には生産者110戸を超える規模に至りました。

現在では71戸の生産者が100haの面積で100品目500余の品種を栽培・出荷する産地になっています。主な品目はカーネーション、ナデシコ（ダイアンサス）、ユリ、デルフィニウム、シュニアタ、HBスターチス、スカビオサ、草花等で今でもバラエティを失わず多品種を作っています。冬は豪雪地帯で厳しい環境にありますので、春から秋にかけてお花を栽培しています。

ところで、

どんな花を栽培しているの？ その花はいつ出荷されるの？ 今は何が出荷されてるの？
この花ってどんな色の花？ どんな人がつくっているの？ ・・・とか思いますよね？

そこで、 月形の花 **ホームページの登場です！**
ここでは『月形の花』の紹介、品目ごとの出荷計画、写真、最新の出荷情報、その他実施した行事など、出来る限りの情報を発信していきます。

最新の出荷情報が見れる携帯版

【 http://www.tsukigatanohana.net 】